

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス SOALA小郡校			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 1日 ~ 2025年 12月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年 1月 1日 ~ 2025年 12月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 3日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様との情報共有 その日の小さな成長や変化を具体的に伝えることを徹底しており、一貫した対応を心掛けることで安心感を提供できるよう努めています。	送迎時に伝えるべき情報を事前に共有し、一貫した情報をお届けできるよう努めています。また、送迎時にお会いできない保護者様に関してはLINEで同等の情報を共有し、全てのご家庭に「平等に手厚いサポート」を提供できるよう努めています。	送迎時やLINEでのやり取りから保護者様が得た情報が家庭での支援につながりやすいよう、具体的な工夫やアドバイスを自然に伝えることを意識していきたいと考えています。
2	・Instagramを活用した情報発信 リーチ数やエンゲージメントの分析を行い、より効果的な情報発信を心掛けています。	事業所での活動やイベントの様子を発信しています。日々の活動を可視化して安心していただくこと、同業他社や地域の方々にも当事業所の取り組みを知ってもらうきっかけを作ることができます。 特別な行事だけでなく、日常の些細な活動も取り上げ、事業所の雰囲気が伝わるよう意識しています。	更新頻度を上げるだけでなく、投稿内容に多様性を持たせたいと考えています。例えば、保護者様向けの育児ヒントや指導員の思いを発信することで、事業所の活動や理念をより多くの方に知っていただける取り組みを考えていきたいです。
3	・本物体験の提供 日常ではなかなか体験できないような体験を積極的に提供しております。自然と触れ合う活動やプロの選手との交流、地域のイベントに参加する機会を設け、普段の生活では得られない貴重な経験を重ねることで、子どもたちの好奇心や自己肯定感を育む取り組みを行っています。	本物体験の質を高めるために、イベントの計画段階から「楽しみながら学べること」を意識しています。自然体験では季節の変化を感じられる内容を盛り込み、料理体験では旬の食材を使用するなど、五感を刺激する工夫をしています。また、イベント後には体験を振り返る時間を設け、「やってよかった」と感じてもらえるようサポートしています。	これまでの活動実績を振り返り、地域資源や専門家との連携をさらに強化することで、より多様で深い体験を提供していきたいと考えています。また、保護者様にも事前に活動内容や目的を共有させていただき、ご家庭での話題として体験を広げられるよう工夫を進めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置について周知不足 活動内容への理解をいただいている一方で職員配置について「わからない」とご意見をいただいております。ガイドラインでの配置基準、実際の指導員や専門職員の配置について周知不足があったと考えられます。	配置について文書と面談で夏休み前に周知に努めています。小学生に上がったことで支援の場を直接見る機会が減ったことが要因かも知れません。また個人情報の観点から児童や職員全体を写した画像の共有が難しいことも要因であると考えられます。	ご利用者様のご理解とご協力により、イベントへのご家族の参加が徐々に増えております。今後もより安心して楽しく参加できる保護者参加イベントを企画いたします。
2	地域の他の子どもたちとの活動の周知不足 前回のアンケート結果を受け、今年度は公園遊びの際に地域の子どもたちを誘うなど、積極的に機会を提供しました。一方で「わからない」という回答を頂いています。また、アンケート回収後に評価項目についてわかりにくいというご意見を頂いております。	評価項目とご利用者様の支援内容の実感にギャップがあるようです。専門職として、評価項目について丁寧な説明を心掛けるという責任を感じております。	評価アンケートについてより丁寧な説明を心掛けます。ご利用者様のご理解ご協力を得て、事業所の改善に努めます。
3			